

くま組だより

やりたいことをとことん楽しもう

探索・探究する 思う存分

～思いがふくらみ響き合う～

自分の思いがふくらみ→自我と自我のぶつかり合い→たくさんの思いが響き合う

① 自我の育ちを支える

2歳児クラスでは1歳児クラスで芽生えた自我が「拡大」し、「充実」していきます。

＜自我の拡大＞

自我が拡大、充実すると心の内面が広がり、まわりの世界に目を輝かせて関心を向けるようになります。心の内面が広がると共に、子どもたちは「大きくなった自分の価値」に気付いて欲しいという思いが育ちます。「イヤだ」「ダメ」「自分で」など…

その背景には『自分の行動だけでなく思いをわかって欲しい』という願いがあります。

＜葛藤体験＞

自分の思いが通らなかった時、子どもは“思いが通らない”という事に葛藤します。たくさんの葛藤体験が強い自我を育て、生きる力を育てていきます。



② 友だちとの関わりを支える

自我を発揮し、自分の思いがふくらむ



自我と自我のぶつかり合い「相手にも思いがあることに気づく」



たくさんの思いが響き合う「同じ体験を通して色々な思いを共有・共感していく」

心もからだも
元気な子



③ 運動能力を育てる

2歳時期は運動能力が大きく発達し、身体を通して外の世界を知っていきます。

「毎日同じ生活リズムを作ることが、子どもの心が安定し、身体が育つ近道です」
また、自分の足で歩くことも基本的な身体作りに欠かせません。

